

## 別添 親子で秋の自然体験会とクラフト教室 実施概要

### 『平成24年度ふれあい事業 親子で秋の自然体験会とクラフト教室』

実施日時：平成24年10月6日（日） 10：00～14：45

場 所：大山隠岐国立公園 鏡ヶ成集団施設地区 （鳥取県日野郡江府町御机）

参加者：5名（募集定員20名）

天 候：曇り

内 容： 大山隠岐国立公園の鏡ヶ成は標高900mに位置し、湿原や草原、ブナの広がる森など多様な自然環境の中で、たくさんの動植物が暮らしています。今回、鏡ヶ成の秋を感じる自然体験を実施し、そこで見つけた材料を使用して、クラフト教室を開催しました。午前中は自然体験会を行いながらクラフトの材料集めを行いました。昼食には、自分たちで火起こしをし、飯ごうで炊いたご飯でカレーライスを食べました。一緒に作ったササ茶も非常に好評でした。午後からは、クラフト教室を行い、ススキを使ったフクロウを作製しました。

### 実施風景



#### <ススキの穂を収穫①>

今回のメインイベントであるススキのフクロウ作りのためのススキの穂を自分の手で収穫しました。



#### <ススキの穂を収穫②>

フクロウ作製には、穂の長いススキが適しています。できるだけ長い穂を探して収穫しました。それぞれに収穫したススキの穂の長さを比べてみると、一番長い穂は45.7cmもありました。



<学習歩道を散策>

鏡ヶ成野営場内の学習歩道で秋の落とし物を探しながら散策しました。どんぐりや、葉脈だけがきれいに残った落ち葉など、たくさんの落とし物を見つけることができました。



<火起こしに挑戦>

昼食のカレーライスのために、飯ごうを使ってご飯を炊きました。薪を使った火起こしにも挑戦しました。



<飯ごうでお米研ぎ>

お米研ぎも一生懸命やってくれました。自分たちで炊いたご飯で食べるカレーはとてもおいしく、好評でした。



<クラフト教室の様子①>

午後からのクラフト教室では、収穫したススキの穂を使ってフクロウを作製しました。





<クラフト教室の様子②>

ススキのフクロウ作りは子どもの小さな手では少し難しいのですが、スタッフにも手伝ってもらいながら、自分だけのフクロウ作りを楽しんで行いました。



<クラフト教室の様子③>

ススキのフクロウ以外にも、午前中に拾ったどんぐりなどの秋の落とし物を使って思い思いの作品を作りました。



<クラフト教室の様子④>

フクロウなどの作品がたくさん完成しました。同じ材料で作製しても、ひとつひとつがとても個性的で表情豊かな作品となりました。秋の恵みを感じながら、楽しく活動できました。